

6 社会活動・地域活動等について

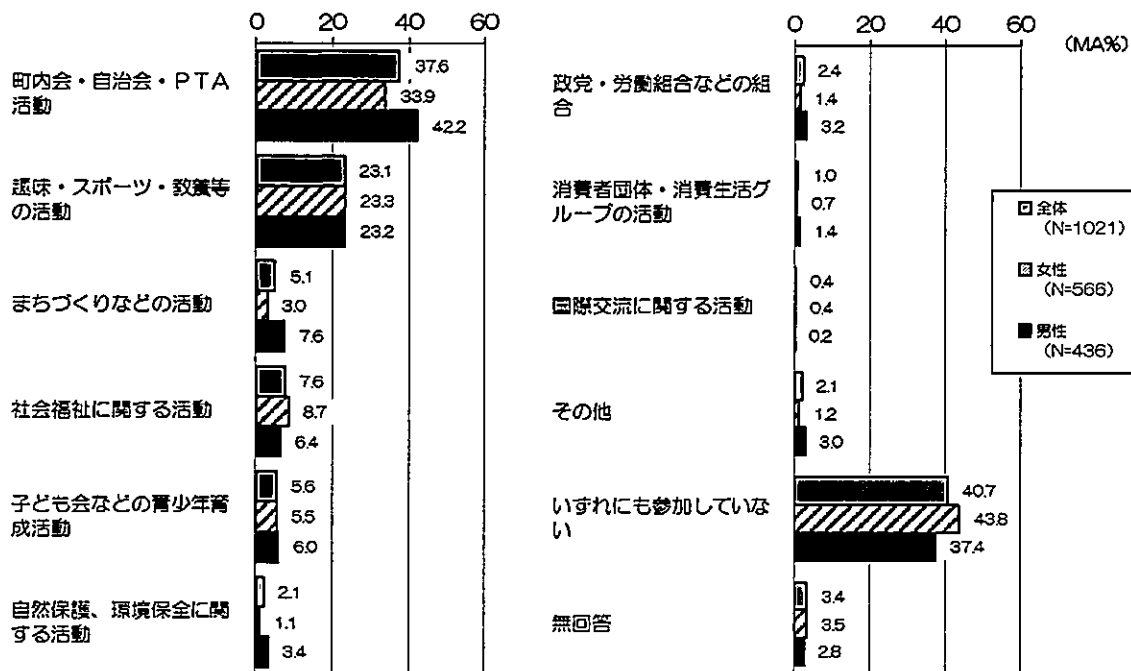
15-1 現在参加している社会活動、地域活動

問15 あなたが現在参加している社会活動、地域活動をお答えください。
(あてはまるものすべてに○印)

ポイント

- 社会活動、地域活動への参加状況は「町内会・自治会・PTA活動」で約4割、「趣味・スポーツ・教養等の活動」で2割以上、それ以外の活動は1割未満となっている。
- 「いずれにも参加していない」という人の割合が、男女とも3割以上である。

図15-1-1 現在参加している社会活動、地域活動



現在参加している社会活動、地域活動について、全体では「町内会・自治会・PTA活動」が37.6%と最も高く、次いで、「趣味・スポーツ・教養等の活動」が23.1%で、それ以外の項目は1割未満となっている。また、「いずれにも参加してない」は、女性では43.8%、男性では37.4%と割合が高くなっている。

性別にみると、男性の方が「町内会・自治会・PTA活動」で8.3ポイント、「まちづくりなどの活動」で4.6ポイント、「自然保護、環境保全に関する活動」で2.3ポイント高くなっている。(図15-1-1)

表15-1-2 性年齢別 現在参加している社会活動、地域活動

ポイント

- 「町内会・自治会・PTA活動」は、女性では50歳代で、男性では60歳代で参加の割合が最も高い。
- 「趣味・スポーツ・教養等の活動」は、女性では60歳代、男性では70歳以上で参加の割合が最も高い。
- 「いずれにも参加していない」は、男女とも20歳代で割合が最も高い。

	全体	町内会・自治会・PTA活動	子ども会などの青少年育成活動	社会福祉に関する活動	消費者団体・消費生活グループの活動	趣味・スポーツ・教養等の活動	国際交流に関する活動	自然保護、環境保全に関する活動	まちづくりなどの活動	政党・労働組合などの組合	いずれにも参加していない	(MA%)
女性												
20歳代	65	6.2	3.1	1.5	0.0	16.9	0.0	0.0	1.5	3.1	69.2	
30歳代	90	24.4	6.7	4.4	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	64.4	
40歳代	97	44.3	13.4	3.1	0.0	17.5	1.0	1.0	5.2	2.1	38.1	
50歳代	111	45.9	4.5	7.2	0.0	29.7	0.0	1.8	2.7	0.9	34.2	
60歳代	126	40.5	2.4	16.7	0.8	32.5	0.0	2.4	4.0	1.6	31.0	
70歳以上	75	26.7	2.7	14.7	4.0	25.3	1.3	0.0	4.0	1.3	41.3	
男性												
20歳代	40	15.0	5.0	0.0	2.5	17.5	0.0	2.5	10.0	2.5	57.5	
30歳代	47	34.0	8.5	2.1	2.1	29.8	0.0	0.0	2.1	6.4	40.4	
40歳代	57	43.9	7.0	0.0	1.8	17.5	0.0	0.0	3.5	0.0	36.8	
50歳代	87	44.8	4.6	1.1	1.1	20.7	1.1	4.6	2.3	4.6	41.4	
60歳代	109	53.2	7.3	12.8	1.8	20.2	0.0	4.6	11.9	5.5	26.6	
70歳以上	96	41.7	4.2	12.5	0.0	31.3	0.0	5.2	11.5	0.0	36.5	

※「その他」、「無回答」は省略している

性年齢別にみると、「町内会・自治会・PTA活動」では50歳代女性(45.9%)、60歳代男性(53.2%)が他の年代と比べて高くなっている。「趣味・スポーツ・教養等の活動」では70歳以上の男性(31.3%)が他の年代と比べて高くなっている。20歳代はほとんどの項目で男女とも低く、「いずれにも参加していない」では女性が69.2%、男性が57.5%となっている。(表15-1-2)

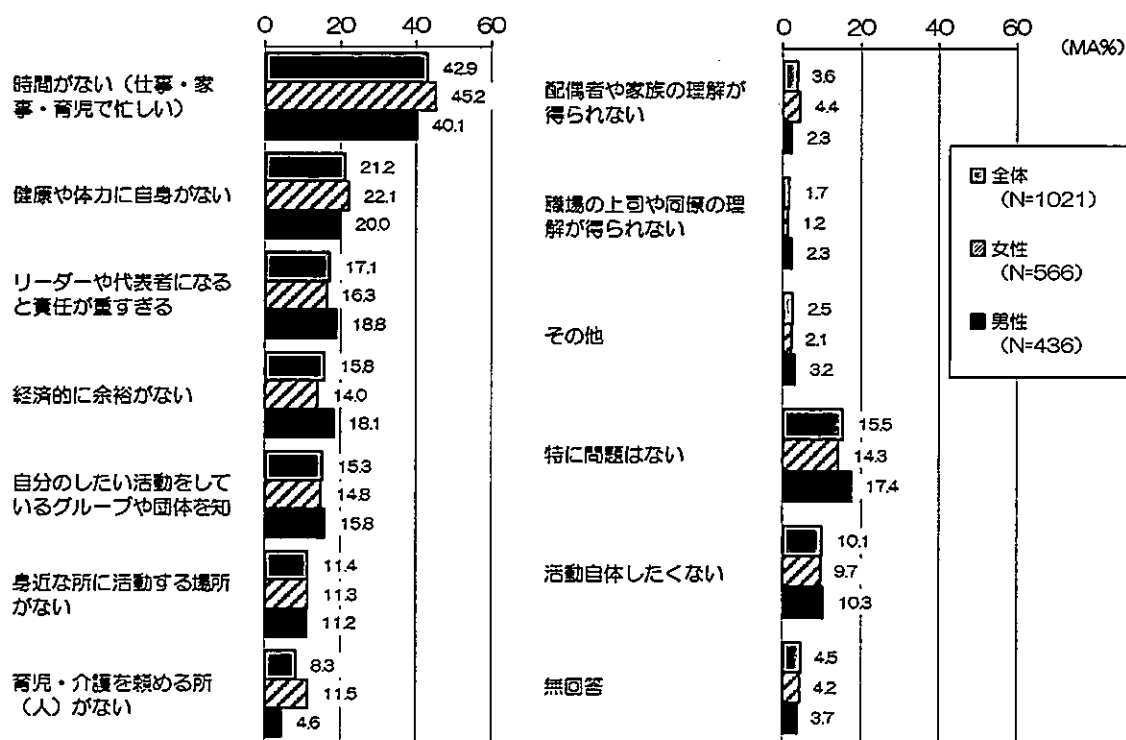
16-1 社会活動、地域活動を行う上で、問題になると思うこと

問16 あなたが社会活動、地域活動を行う上で、どのようなことが問題になると思いますか。
(あてはまるものすべてに○印)

ポイント

- 男女とも「時間がない」という意見が最も多く、女性の方が若干割合は高い。
- 「経済的に余裕がない」では、女性より男性の方が割合は高くなっている。

図16-1-1 社会活動、地域活動を行う上で、問題になると思うこと



社会活動、地域活動を行う上で、問題になると思うことについて、全体では、「時間がない(仕事・家事・育児で忙しい)」が42.9%と最も高く、次いで、「健康や体力に自信がない」が21.2%で、他の項目は2割未満となっている。

性別にみると、「時間がない(仕事・家事・育児で忙しい)」は5.1ポイント、「健康や体力に自信がない」では2.1ポイント、「育児・介護を頼める所(人)がない」では6.9ポイント女性が高く、「経済的に余裕がない」では4.1ポイント男性が高くなっている。「特に問題はない」では3.1ポイント男性の方が高くなっている。(図16-1-1)

17-1 防災・災害対策で女性に配慮する必要があること

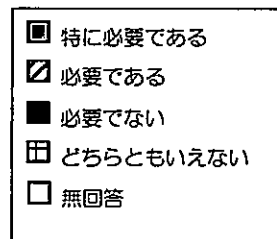
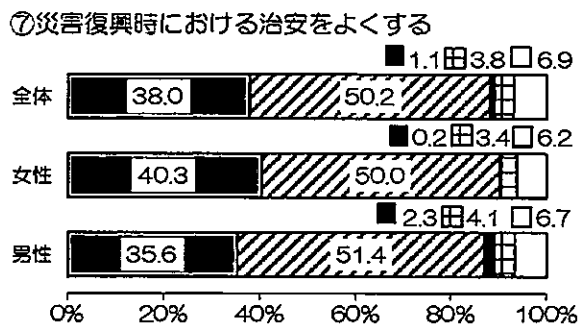
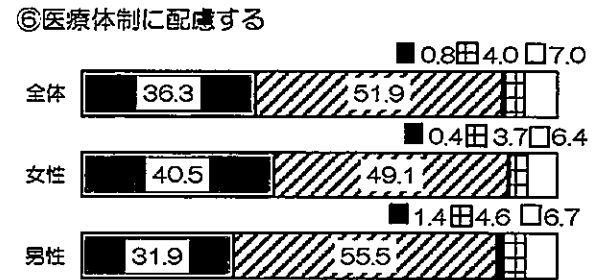
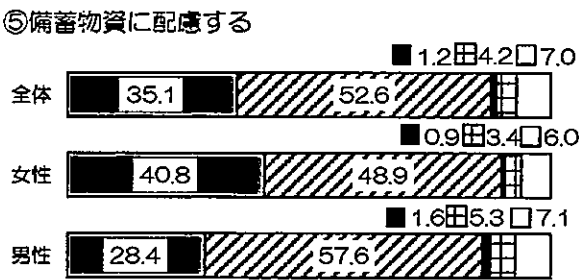
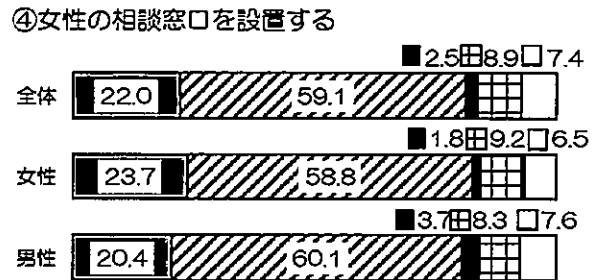
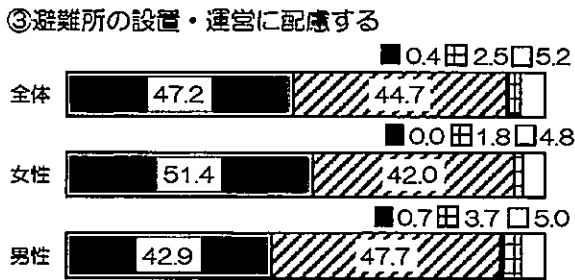
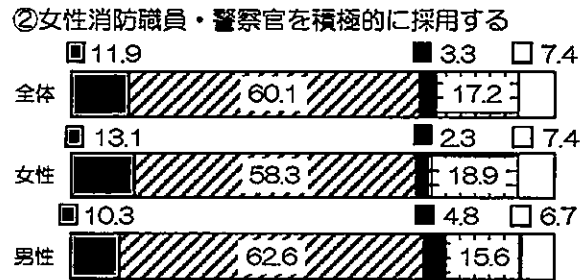
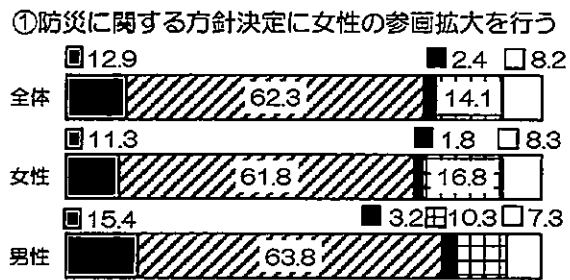
問17 防災・災害対策における次の事項について、女性に配慮して取り組む必要があると思いますか。(①～⑦の項目それぞれについて1つだけに○印)

ポイント

○『必要である』の割合について、全体、女性では「③避難所の設置・運営に配慮する」が最も高く、次いで「⑦災害復興時における治安をよくする」となっている。

図17-1-1 防災・災害対策で女性に配慮する必要があること

全体：1,021件
女性：566件
男性：436件



防災・災害対策で女性に配慮する必要があることについて、「①防災に関する方針決定に女性の参画拡大を行う」では、全体で『必要である』（「特に必要である」と「必要である」を合わせたもの）が75.2%となっている。性別にみると、『必要である』は男性の方が6.1ポイント高くなっている。

「②女性消防職員・警察官を積極的に採用する」では、全体で『必要である』が72.0%となっている。性別にみると、『必要である』は男性の方が1.5ポイント高くなっている。

「③避難所の設置・運営に配慮する」、「④女性の相談窓口を設置する」、「⑤備蓄物資に配慮する」、「⑥医療体制に配慮する」、「⑦災害復興時における治安をよくする」では、男女ともに『必要である』と答えた人の割合が8割以上であり、「特に必要である」の割合は女性の方が高くなっている。

「特に必要である」の割合で男女差が大きいものとして、「③避難所の設置・運営に配慮する」、「⑤備蓄物資に配慮する」、「⑥医療体制に配慮する」で、それぞれ8.5ポイント、12.4ポイント、8.6ポイントと女性の方が高くなっている。

「必要でない」と「どちらともいえない」を合わせた割合では、「②女性消防職員・警察官を積極的に採用する」で20.5%と最も高く、次いで「①防災に関する方針決定に女性の参画拡大を行う」で16.5%、「④女性の相談窓口を設置する」で11.4%となっている。（図17-1-1）

図17-1-2 性年齢別 防災・災害対策で女性に配慮する必要があること

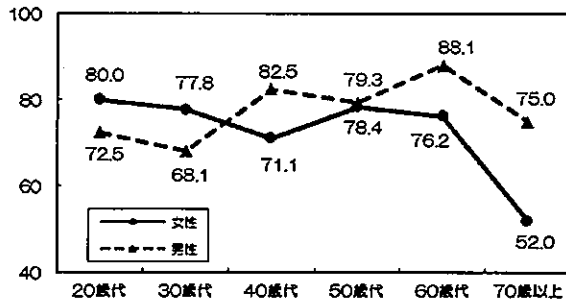
【『必要である』と答えた人の割合】

ポイント

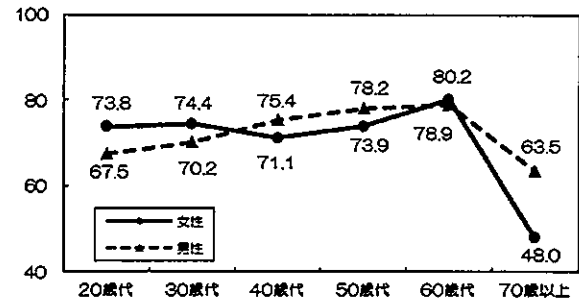
○「③避難所の設置・運営に配慮する」、「⑤備蓄物資に配慮する」では、ほとんどの年代で、『必要である』とする割合が8割以上と高くなっている。

○すべての項目で、70歳以上の男女ともが他の年代よりも割合が低くなっている。

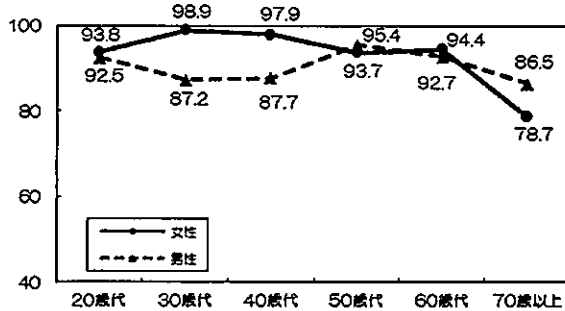
①防災に関する方針決定に女性の参画拡大を行う



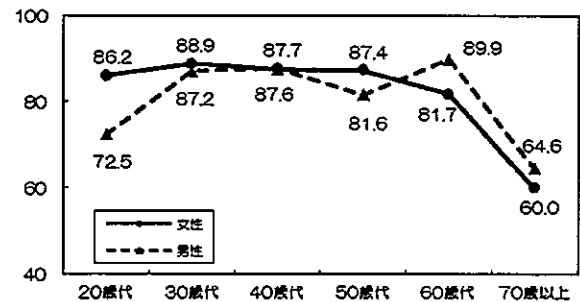
②女性消防職員・警察官を積極的に採用する



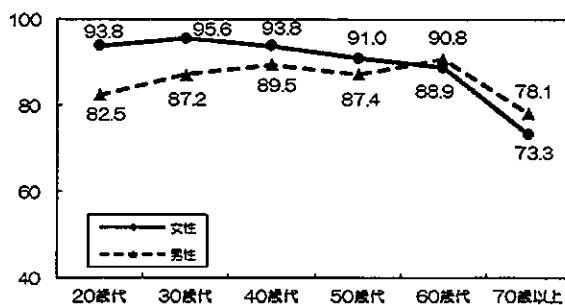
③避難所の設置・運営に配慮する



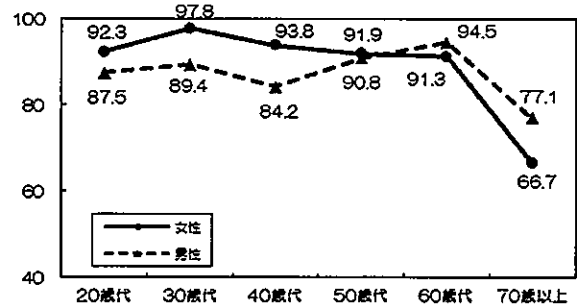
④女性の相談窓口を設置する



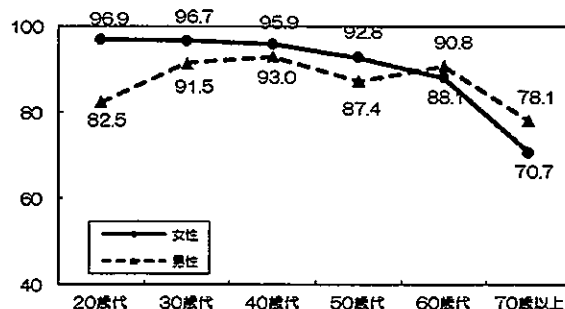
⑤備蓄物資に配慮する



⑥医療体制に配慮する



⑦災害復興時における治安をよくする



※「無回答」を除いた割合を記載している

※『必要である』は「特に必要である」と「必要である」を合わせたもの

『必要である』の割合について、性年齢別にみると、③～⑦の項目については、ほとんどの年代で8割以上と高く、特に「③避難所の設置・運営に配慮する」では、9割を超える割合の年代が多く見られる。

「①防災に関する方針決定に女性の参画拡大を行う」では、男性の60歳代で88.1%と割合が最も高くなっている。年代別に男女間の差をみると、70歳以上の女性では52.0%、男性では75.0%と23.0ポイントの差がある。

「②女性消防職員・警察官を積極的に採用する」では、60歳代の女性80.2%、男性78.9%と割合が高くなっている。年代別に男女間の差をみると、70歳以上の女性では48.0%、男性では63.5%と15.5ポイントの差がある。

「④女性の相談窓口を設置する」では、60歳代の男性で89.9%と最も高く、同年代の女性を8.2ポイント上回っている。

「⑦災害復興時における治安をよくする」では、20歳代の女性で96.9%と最も高く、『必要である』と回答した割合が最も低い70歳以上の女性と比較すると、26.2ポイントの差がある。(図17-1-2)